

東京ハンディキャブ連絡会

Special Transport Network of TOKYO

東京都千代田区飯田橋4-4-8 朝日ビル402号室

TEL & FAX 03-3222-8915

E-mail office@tokyo-handicab.net

ホームページ <http://www.tokyo-handicab.net/>

東京ハンディキャブ連絡会は、1986年に東京都内の移送サービス実施団体を中心とした情報交換や運営上の様々な問題を話し合い、解決の手がかりを探る場として結成されました。発足当初は事務局を加盟団体が持ち回りでその任にあたってきましたが、1994年より移送サービス問題に、さらに積極的に取り組むため、移送サービスに関心のある個人を加え、人材を確保した体制で活動を行えるようになりました。

移送サービスの地域ネットワーク団体としては、草分け的存在であり、国や地方自治体からも認知されており、移動に関する各種検討委員会をはじめ自家用有償運送の運営協議会にも参画し、移送サービスの発展に寄与しています。

ハンディキャブとは、「障害がある方のタクシー」という意味で、移送サービスの一番最初の呼び方です。

移送サービスは、

通院など生活上絶対必要な送迎から、余暇活動や社会参加活動、旅行まで、外出にかかわるあらゆる依頼※に対応しています。※対応する送迎内容やサービス範囲は、各運行団体により異なります。

☆運転協力者として参加する前に、必ず講習※を受けますので、経験が無くても安心です。※法律に定められた講習と各団体独自の講習があります。

☆こんな車を使用しています。



移送サービスとは、

障害がある方や高齢の方で、電車や路線バス、タクシーなどの一般の公共交通機関の利用ができなかったり、困難だったりする方を対象として、車いすのまま乗車できる福祉車両や普通のマイカーを使用して、外出の支援をする福祉サービスです。日本では1970年代半ば頃より市民団体が中心となってこのサービスがはじまり、2006年から道路運送法で「自家用有償旅客運送(福祉有償運送)」として位置付けられています。

移送サービスを実施する団体には、ボランティアグループをはじめとして、特定非営利活動法人(NPO法人)、社会福祉協議会、社会福祉法人、医療法人、生活協同組合など様々な団体があり、そこで運転に携わっている方(運転協力者)も、ボランティアから常勤型までと、いろいろな参加形態があります。

移送サービスは、利用者の方をドア・ツー・ドアで送迎するサービスです。車の運転だけではなく、乗降時の介助や、車いす介助、歩行介助、団体によっては身体介助なども行う、外出に関する総合的な福祉サービスです。

現在、都内には約200団体が活動を行っており、各運行団体ではコーディネーターが、利用者からのお申込内容と、運転協力者のご都合を調整して、運行を行っています。

各運行団体では、運転にご協力いただける方を常に募集しています。

運転協力者の一言

「会員の皆様との会話を楽しみながら、安全運転第一で運行に励んでいます」

「皆様に支えられながら、元気で丸8年、続けてこられたことを感謝しています」

「皆様のお手伝いができる事と、その組織に従事できる事に感謝！」

「運転協力者になってから、家族から『運転が丁寧になったね』と言われるようになりました」

「健康第一をモットーに身体に気をつけ、一日一日を大切に頑張りたいと思います」

「前後左右に充分注意し、安全運転を心がけています」

「利用者の皆様が気持ちよく乗車できるよう最善を尽くします」





巣鴨地藏尊への送迎



高尾山ケーブルカー駅前にて



雪国でも走っています



レストランへのお食事での送迎



ホテルへの送迎



国際会議の参加者を成田空港から送迎するために協力



病院送迎の利用が多いです



病院には、たくさんの送迎車両が集まります



八丈島でも活動しています



雨がふる日も



雪が降る日も (写真は講習風景)



表通りから



裏通りまで、あらゆる所を走ります。



災害救援活動も行っています (阪神淡路大震災)



災害救援活動も行っています (三宅島島民ふれあい集会送迎)



災害救援活動も行っています (三宅島島民ふれあい集会送迎)



災害救援活動も行っています (新潟県中越地震)



災害救援活動も行っています (新潟県中越地震)